

まちの話 題

9月25日[Sun]

あいぱれっと 入館者100万人達成！



▲100万人目の入館者となった秋元さん親子（中央）

平成26年8月にオープンした多久市まちづくり交流センター「あいぱれっと」の入館者が100万人に到達しました。施設を管理運営する一般社団法人たく21による記念のセレモニーが行われ、花束と記念品を贈って祝福。100万人目の入館者となった秋元愛子さん、結葉ちゃん、陽太ちゃん（小城市）は「多久にはよく来ています。今日はマルシェに足を運びました。次はボルダリングを楽しみたいです」と笑顔で話しました。

たく21の真崎俊夫代表理事は「地元のみなさんはもちろん、多久駅の利用者にも愛されてきました。これからも交流・憩いの場として尽力していきます」と決意を新たにしていました。

10月6日[Thu]~10日[Mon]

全国和牛共進会に「あき号」出場！



▲大会を前に必勝祈願祭を開催（左から）野北悟多久市議会議長、荒谷さん、横尾俊彦多久市長、あき号

5年に1度開かれ、和牛のオリンピックと称される最高位の大会「全国和牛共進会」が、10月6日~10日の5日間、鹿児島県霧島市で開催されました。

佐賀県代表として南多久町の荒谷武彦さんが育てる「あき号」が出場。当日は多くの観客で賑わう中、あき号は物怖じせず堂々と審査に挑み、第二区若雌牛の部（生後14~17か月）で一等賞（4席）に選ばれました。

荒谷さんは「次回の全国和牛共進会（北海道大会）への出場と上位入賞をめざし、一層精進していきます」と新たな目標を語られました。

10月8日[Sat]

秋季釈菜に備えて多久聖廟を清掃



▲熱心な清掃活動で、聖廟周辺はとてきれいにになりました

10回目となる「多久聖廟周辺合同美化活動」（主催：一般社団法人多久市観光協会）が、晴れやかな秋空の下で実施され、33団体、約340人が、草刈りやごみ拾い、銅像や石碑の清掃などを行いました。

多久市観光協会の高岡聡子さんは「秋季釈菜の前になると、清掃はいつね？まだね？と多くの人が気にかけてくださって、秋の活動として浸透してきたことを感じます」とほほ笑みます。多久美化クラブ代表の南里カチ子さんは「今回はあらかじめ振り分けられた担当エリアに集合し、作業していただきました。ありがとうございました」ときれくなった広場を眺めながら話されました。

